

令和6年度

地域学校協働活動 実践事例集



宮城県大河原教育事務所

発刊にあたって

令和5年6月16日に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、基本的方針の一つとして「地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」が示されています。さらに、令和6年6月に示された第12期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理～全世代の一人ひとりが主体的に学び続ける生涯学習とそれを支える社会教育の未来への展開；リカレント教育の推進と社会教育人材の養成・活躍のあり方～においても、地域と学校の連携・協働の推進を今後の生涯学習・社会教育の振興方策と位置付けています。地域の様々な立場の住民が参画し、学校を含めた地域全体で子供たちの学びや成長を支える活動である「地域学校協働活動」は、地域や社会が幸せや豊かさを共有しながら地域づくりに取り組む働きかけとして、その重要性はますます高まっています。

本県及び本県教育委員会におきましても、その重要性を強く感じ、令和6年3月に改訂した第2期宮城県教育振興基本計画～志を育み、明るい未来の創造へ～において、基本方向10「学校・家庭・地域が連携・協働して子供を育てる環境づくり」として「みやぎの協働教育」を更に充実・発展させるべく支援の充実を示しています。学校と地域住民が連携・協働することで、学びの場を学校から地域社会に広げながら、次世代の社会の担い手となる子供たちの成長を支えていくことが、持続可能な社会を構築するためにより一層強く求められていると感じます。

このような状況の中、大河原管内2市7町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会、管内各小・中学校の皆様におかれましては、日頃より学校教育活動及び地域学校協働活動の推進に御尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。また、各市町における確かな実践を御紹介いただき「地域学校協働活動実践事例集」が発刊できましたこと、大変喜ばしく思います。

この「地域学校協働活動実践事例集」には、各市町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会が取り組んでいる事業実践の事例や、各学校が実践している地域と連携した教育活動の様子を掲載しています。管内における豊かな地域社会づくりへの取組や、子供たちの笑顔や学びの充実を図る事例が数多くまとめられていますので、ぜひ御高覧いただくとともに、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。掲載されているような様々な取組をとoshi、多様な個人が幸せや生きがいを感じ、学校や地域でのつながりのよさや意義を実感することができれば、日本社会に根差した調和と協調に基づくウェルビーイングの実現も、きっと可能となるでしょう。

結びに、本冊子を発刊するに当たりまして、御協力をいただきました管内各教育委員会の皆様及び関係各位に心より感謝を申し上げ、発刊の言葉といたします。

令和7年3月

宮城県大河原教育事務所
所 長 鎌 田 雅 博

目 次

発刊にあたって 大河原教育事務所長

○白石市教育委員会	白教委 1～4
実践紹介（スマイルころ柿プロジェクト）	白教委 5～6
学校での取組紹介（13校）	白教委 7～10
○角田市教育委員会	角教委 1～4
実践紹介（EM発酵液づくり）	角教委 5～6
学校での取組紹介（8校）	角教委 7～8
○蔵王町教育委員会	蔵教委 1～4
実践紹介（流れる水のはたらき）	蔵教委 5～6
学校での取組紹介（8校）	蔵教委 7～8
○七ヶ宿町教育委員会	七教委 1～4
実践紹介（地域交流活動）	七教委 5～6
学校での取組紹介（2校）	七教委 7
○大河原町教育委員会	大教委 1～4
実践紹介（「南小オヤジの会」による防災キャンプ）	大教委 5～6
学校での取組紹介（5校）	大教委 7～8
○村田町教育委員会	村教委 1～4
実践紹介（紅花染め体験）	村教委 5～6
学校での取組紹介（4校）	村教委 7
○柴田町教育委員会	柴教委 1～4
実践紹介（米作りの学習（米の販売））	柴教委 5～6
学校での取組紹介（9校）	柴教委 7～9
○川崎町教育委員会	川教委 1～4
実践紹介（藍染め体験）	川教委 5～6
学校での取組紹介（5校）	川教委 7～8
○丸森町教育委員会	丸教委 1～4
実践紹介（職場体験学習）	丸教委 5～6
学校での取組紹介（3校）	丸教委 7
○仙南地域広域行政事務組合教育委員会	広 域 1～2

白石市の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

白石市の地域学校協働活動では、家庭・学校・地域が相互に連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもを育むことを目的とし事業を展開している。

さらに、地域学校協働本部を中心に、地域の支援団体及び個人とのネットワークの拡充を図り、ふるさと「白石」に誇りと愛着の醸成ができるよう、より充実した支援に努めている。

2 地域学校協働本部について

令和2年7月に白石市地域学校協働本部を設立。

本部には、本部長、副本部長、統括コーディネーター、地域コーディネーター（4名）、推進員（12名）地域連携担当者（各学校1名）を置き、ネットワークの充実を図っている。

3 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
しろいし家庭教育支援チーム主催事業 「親の学びのプログラム」 出前講座	しろいし家庭教育支援チーム「ペアレントらん」が講師となり、小学校で行われる一日入学説明会等の機会を活用し、未就学児の保護者向けに、また中学生には家庭科の授業の中で出前講座を実施した。 ・未就学児保護者対象 テーマ「子どもが小学校へ入学」 ・中学生対象 テーマ「親になるということ ～こんにちは！赤ちゃん～」	実施校 2校 ○未就学児保護者対象 ・大鷹沢小学校 ○中学生対象 ・白石中学校
学ぶ土台づくり親の学び 研修会	保育園の保護者を対象に、講師による講話を実施した。 ※宮城県主催・市教委共催事業	実施園 1園 ・白石はるかぜ保育園
子育て応援 ブックカフェ	保護者を対象にワークショップを開催。同世代の子を持つ親同士の交流を図りながら、子育ての不安や悩みを解消し、親の学びに繋がっている。	会場：中央公民館 回数：7回 対象：保護者
親子クッキング教室	活動をとおして親子の愛着形成を促進し、参加者同士の交流を育みながら、子育ての仲間づくりを支援した。	会場：中央公民館 回数：4回 対象：年中から小学生とその保護者
家庭教育支援研修会	家庭教育支援者を対象に、講師による講話・ワークショップを実施。参加者同士の交流を育みながら、人材育成と家庭教育の推進を図った。	会場：中央公民館 期日：10月29日 参加者：15名



【親の学びのプログラム出前講座】



【親子クッキング教室】



【家庭教育支援研修会】

(2) 地域活動支援

事業名	内 容	備 考
わんぱく教室	体験学習などを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、個々の創造性や集団での協調性、自主性を養成し生活力を身につける活動を行っている。今年度も地域の方々の協力を得て、交流が深まる活動を行った。 【通年開催】ジュニア・リーダーと遊ぼう・わんぱく宇宙教室・わんぱく大冒険キャンプ・わんぱく農業・食育教室・わんぱく考古学教室・わんぱくクリスマス会	会場：中央公民館・角田宇宙センター・松島自然の家・白石城ほか 対象：市内小学5・6年生 参加者：19名
第47回こどもまつり	野外活動・レクリエーション等を通して青少年の豊かな人間形成と相互の親睦交流を図る。シャボン玉・ペットボトルボウリング・人形劇・丸太切り体験等の遊びコーナーあり。	主催：白石市子どもまつり実行委員会・白石市・白石市教育委員会
ジュニア・リーダー研修及び派遣事業	J・Lを対象に、子ども会の指導者としての知識や技術の習得を目指す。各地区の子ども会や児童館等の要望に応じゲームやレクダンス等を通しての青少年の健全育成を図る。	会場：中央公民館・蔵王自然の家・各地区子ども会等
第32回白石市生涯学習フェスティバル事業	市民総参加による事業を通年にわたり積極的に展開し、市民が生涯学習に接する機会を広く設け、「ひとづくり」「まちづくり」の推進を目的として行う。 白石城及び武家屋敷周辺に“白石を詠む”・新春囲碁・将棋大会・公民館まつりほか	主催：白石市生涯学習フェスティバル実行委員会 会場：中央公民館・ホワイトキューブ・市内小中学校・白石城・武家屋敷ほか
「家庭の日」推進事業	地域全体で家庭のもつ役割の重要性を再認識し、青少年の健全育成と非行防止の啓発を図る。毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め推進。市内小中学生対象に絵画・ポスターを募集し作品展開催。入選作品で啓発ポスターを作成。	主催：生涯学習課・青少年のための白石市民会議



【わんぱく教室 考古学教室】



【わんぱく教室 大冒険キャンプ】



【ジュニア・リーダー初級研修会】

(3) 学校教育支援

事業名	内 容	備 考
1 学校支援ボランティア派遣 (1) 登下校安全指導 (2) 部活動等の指導 (3) 自然体験活動 (4) 防災活動 (5) 環境整備 (6) 図書・読み聞かせ (7) 学習支援 (8) 地域理解 (9) キャリア教育 (10) 行事 (11) その他	学校からの支援要請に応じて、ボランティアを派遣する。 通年から月1程度、登下校時に小中学校で実施（あいさつ運動含む） 中学校でソフトテニス等の指導 登山9小中学校・スキー5小中学校 地域の消防団と協働し、放水・消火器体験 除草作業・校内清掃・ベルマーク整理・プール清掃・危険箇所点検 読み聞かせは、週1から月1程度 図書の整理から図書の案内・掲示等 家庭科支援（調理実習等）・水泳の指導・絵手紙・昔あそび支援（生活科）・アスリート講話・実演 英語活動支援・稲作体験活動・グランドゴルフ指導 着付け教室・福祉体験活動・ものづくり体験活動・租税教室・デートDV防止教室・ころ柿づくり体験 伝統文化体験（能楽堂での日本舞踊・茶道） 和太鼓活動・団七踊り・神楽指導・白石の歴史魅力学習支援・講話 地域探訪（逆さケヤキ）・工場見学 白石和紙作り・講話・こけし絵付け体験 職場体験前のマナーアップ講座・職業人講話 文化祭・運動会・クリスマス会・豆まき・公園植栽活動支援等 賞状の浄書等・職員研修	白一小、越河小、大鷹沢小、深谷小、東中 福岡中 大鷹沢小等 白一小、大平小、白川小、東中 白一小、白二小、福岡小 越河小、大鷹沢小、白川小、深谷小、小原小中、白石中 白一小、白二小、大平小、大鷹沢小、白川小、深谷小、南小中、白石中、小原中 可能な範囲で実施 白一小、越河小、南小中、白石中、東中 全小学校 白一小、白二小、大鷹沢小、小原小、白石中、福岡中 大平小、南小中 大鷹沢小、小原小中 白石中、福岡中、東中 第二幼稚園、小原小中、東中 大平小、南小中
2 職場体験関係	中学校職場体験学習に当たり、市内事業所の受け入れ先リストの作成、新規の開拓、当日の体験状況の巡視	全中学校（2学年） 南中学校全学年
3 研修活動	登山ボランティア研修会（蔵王大黒天～地蔵岳） 地域学校協働活動研修会・講話・情報交換	期日：6月1日 参加者：23名 期日：12月13日 参加者：41名
4 広報活動	広報誌「清流」の発行・送付 地域活動の紹介	幼保小中に配布 公民館・ボランティアを通して回覧

(4) 放課後子ども教室

事業名	内 容	備 考
放課後子ども教室	放課後や週末等に小学校の余裕教室や公的な施設等を活用して、子供たちの安心・安全な活動拠点（居場所）を設けた。子供たちが地域社会の中で心豊かで健やかに育むことを目標に、地域住民の参画を得て様々な体験活動や交流活動等を実施した。 自由遊び・伝統行事体験・軽運動・絵本紙芝居等の読み聞かせ・運動遊び（ムーブメント活動）・造形活動・手作りゲーム	会場：各小学校の体育館や多目的室、地区公民館 実施学校 白一小（校内交流型） 白二小（連携型） 越河小
放課後子ども教室 スタッフ合同研修会	スタッフの人材育成のため研修会を行うとともに、悩みや課題の共有をするため情報交換会を年2回程度実施している。 研修会において、感染症対策や発達障害等について共通理解を図った。	会場：中央公民館



【学校教育支援
ビジネスナーアップ講座】



【学校教育支援
農業体験学習】



【放課後子ども教室
スタッフ合同研修会】



【白石第二小学校
放課後子ども教室】

4 成果と課題

(1) 成果

家庭教育支援については、「親の学びのプログラム」出前講座や「子育て応援ブックカフェ」を開催することで、将来親になる中学生への学び支援や親同士の交流を通して子育ての不安や悩みを解消するなど、親の学びに繋げることができた。

地域活動支援については、小学5・6年生を対象に「わんぱく教室」を開催するなど、様々な体験学習を通じて個々の創造性や協調性、自主性を育み、世代間の交流を深めることができた。

学校教育支援については、学校支援ボランティアや連携担当者等を対象に「講話・情報交換会」を開催し、地域の課題や推進の方針等について共通の理解を図ることができた。

放課後子ども教室については、地域住民の参画を得ながら様々な体験活動や交流活動を実施し、子供たちの安心・安全な活動拠点を設けることができた。また、地域住民の参画により、地域の活性化や生きがいがいづくりに繋げることができた。

(2) 課題

ボランティアの高齢化による後継者不足など課題はあるが、引き続き学校や支援者相互の理解の下、地域学校協働活動を推進していきたい。

また、地域資源をより一層活かした文化の発展や伝承に努めるため、地域学校協働活動の啓発活動とともに、支援者と学校との信頼関係の醸成を図るなど、地域学校協働本部や各種団体と連携・協力した支援体制の充実を図っていきたい。

白石市 白石市立越河小学校(生活科・総合的な学習の時間)「スマイルころ柿プロジェクト」

○市町名 白石市

○学校名 白石市立越河小学校

○期 日 令和6年11月21日(木)

○内 容

生活科・総合的な学習の時間(全学年)

「スマイルころ柿プロジェクト」

- ・地域の伝統産業であるころ柿づくりを通して、保護者やボランティア団体「つながる越河の会」や地域・保護者の方々と関わり、社会性や協調性、シビックプライドを育む。

○講 師

つながる越河の会

代表 佐久間 吉光 氏 他8名

○児童の声

- ・きのう、体いくかんで、かきのかわむきをしました。体いくかんに、「つながる越河の会」の人たちがきてくれました。はじめに、かきのかわむきを教えてもらって、だんだんなれてきました。つぎに、ゆなちゃんとピーラーをこうかんしてかわむきしたら、ゆなちゃんのピーラーのほうがやりやすかったです。それから、ゆなちゃんとかわむきでどちらがはやいかしょうぶしました。そうしたら、まけてざんねんでした。さいごのかきをむいていたら、「つながる越河の会」の人から、「上手だね。」と言われました。うれしかったです。かわむきをしてとても楽しかったです。また来年もやってみたいです。

(2年 大槻 真菜歩さん)



- ・スマイルころ柿プロジェクトで、ころ柿作りをしました。ころ柿のかわむきをする時、たてから下にきれいに切るようにと、ボランティアの人たちが教えてくれました。5・6年生は、皮をむく人と、柿をひもに結びつける人とで分かれて作業をしました。柿をひもに付ける作業は、初めてやりました。ひもの付け方などが学べました。みんなで協力してころ柿作りができ、楽しく作業をすることができました。最後に、5・6年生のみんなで残りの作業をしました。みんなで最後まで頑張れてよかったです。来年も全校みんなで楽しくころ柿作りをしたいです。

(5年 服部 ななみさん)



- ・越河小学校では、「越河学」という総合的な学習があります。その中にスマイルころ柿プロジェクトという、昔から続く干し柿作り体験学習があります。今年で3年目になります。今年は柿取りから体験しました。「つながる越河の会」のみなさんから竹のぼうを使って柿を取る方法を教えてもらいました。コンテナ2個分の柿を取り、全校児童と地域の方々と皮むきし、ころ柿を作りました。柿をていねいにむいたり、ひもにつるしたりするのが楽しかったです。スマイルころ柿プロジェクトを通して、地域の方々と関わりことができ、昔から続くころ柿作りや生活の知恵を学ぶことができました。

(5年 齋藤 奏佑さん)

- ・ ぼくがスマイルころ柿プロジェクトをして学んだことは2つあります。

1つ目は、柿取りのことです。柿取りは今年初めての体験で、ぼくはどうするのか不安でした。でも、地域の方がやさしく教えてくれて、柿を取るための道具についてたくさん知ることができました。

2つ目は、ころ柿作りのことです。ころ柿を作るため皮をむきました。むきづらい所は、地域の方がむいてくれて、とても助かりました。後はひもに柿をつけて、柿をつけたひもをつるします。これでころ柿作りの準備が終わりです。ころ柿ができたら、袋に入れて地域の人に渡す準備があります。頑張ります。

(6年 曳地 爽竜さん)



○講師から

越河小学校の授業で行っているスマイルころ柿プロジェクトの中の皮むきを、全校児童28名が、保護者、地域の方々の協力のもと実施しました。1・2年生、3・4年生、5・6年生の3グループに分かれて、柿むき作業を行い、保護者や地域の方々は、児童たちが作業しやすいように、柿のヘタ取り、皮むきの補助等を行いました。5・6年生は、柿むき作業の途中で紐付け作業にまわり、そこでも地域の方にお手伝いしてもらいながら作業し、643個の柿を紐に付け終了しました。その後、毎回ご協力をいただいている大槻さんに燻蒸してもらい、午後からは地域の方々と体育館脇の外通路に吊るし、ネットで覆う作業をしました。作業全てが夕方までかかりました。地域の方々も児童たちに協力できることを大変喜んでいました。

(「つながる越河の会」 遠藤 桂子 氏)

○教職員の声

「スマイルころ柿プロジェクト」では、高学年が地域の方の家で採ってきた柿を使って、全校でころ柿づくりを行いました。中・高学年の子供たちは、ピーラーを使って慣れた手つきで柿むきをしていました。低学年も、地域の方にコツを教えていただきながら夢中でむいているうちにだんだん上手になり、「楽しかった」「もっとやりたかった」と感想を言っていました。地域の方がむいた柿を吊るしてくださって、ころ柿になるのが楽しみです。「つながる越河の会」や保護者の方々が25名も手伝いに来てくださり、地域の方が温かく子供たちを見守り、喜んで関わってくださっていることを強く感じました。学校の様々な教育活動に協力してくださっていることに深く感謝し、今後も地域の方々とともに子供たちを育てていきたいと思っています。

(1・2年担任 佐藤 恵子 先生)

今年度3年目を迎えたスマイルころ柿プロジェクトは、地域の方との触れ合いの場、地域の良さを学ぶ場として機能している、本校の大切な取組です。5・6年生は、新たに柿取りから参加し、昨年度よりも、一層学びを深めながらころ柿作りができました。「越河の宝物を探そう」から始まったスマイルプロジェクトは、ころ柿に加え、フラワー、ふぁーむプロジェクトがあります。全てのプロジェクトに共通するのは、地域との関わりが濃く・深いところ、地域の方々・児童の全員が笑顔になることです。地域の方に手厚く支援していただける素晴らしい環境に感謝しながら、児童と地域を繋ぐ心温まる取組を、これからも続けていきたいです。

(養護教諭 河村 明穂 先生)

○教育事務所から

地域の皆様の温かさや地域愛、子供たちへの愛情の深さが子供たちの心に届き、ころ柿の味わいや価値を一層豊かにしてくれると感じました。

白石市立白石第一小学校

〒989-0259 白石市学求屋敷前2番地2
TEL 0224-25-3259
FAX 0224-24-2686

児童数 328人

交通安全教室

1年生は地域の皆さんに守られながら交通ルールを覚えます。

歴史学習

6年生が、市内在住の学芸員に白石と会津の歴史について聞きます。

学校安全委員会

児童会代表が、地域の方と一緒に学校安全委員の役割について使います。

白石市立白石第二小学校

“夢 挑戦 そして「創造」”

〒989-0226 宮城県白石市字白石沖29
TEL:0224-24-2676 FAX:0224-25-3578

児童数 519名
P会員数 394名

すすんで学びよく考える子 やさしくおもいやりのある子 たくましく心と体をきたえる子

アルカス隊

白石警察署と連携して白石二小アルカス隊を立ち上げ、校区の安全や地域のお金の循環活動への参加、防犯呼びかけの劇の上演など、見えていない地域の力や安心・安全に向けた取組を行っています。

城下町クリーンアップ作戦

城下町白石市の市民としての自覚を高めることも、シビックアクト(公職上責)の醸成を目的として、白石城周辺の清掃活動を行っています。ごみの分別で少しでも児童が行うことで、SDGsの意識も高まっています。

ボランティア感謝の会

地域ボランティアとして、学校をまわってくださっている皆様に感謝の気持ちを伝える会を行っています。感謝の心を言葉や態度で表すことが出来る児童を目指しています。

白石市立越河小学校

教育目標

体健・貢献・笑顔のある学校、一人一人が活躍する道河村を創る

〒989-0113 宮城県白石市越河字丑山下44
TEL 0224-28-2008 FAX 0224-28-2048

児童数 28名
P会員数 22名

交通安全教室 (ウイークエンド スマイルス)

越河や白石の歴史や文化を学び、シビックプライドを醸成し村長の夢や目標を育む。

スライム工作プロジェクト

みどりの少年団募金と賛助に、全校児童で花を育て、メッセージを添えて地域の自治会に届けた。

スマイルなる森プロジェクト

「つながる森河の会」と連携し、こころを作ります。地域のお年寄りに届けた。

白石市立大平小学校

〒989-0217 白石市大平森谷字垣廻山1番地
TEL 0224-25-3709 FAX 0224-25-3745

児童数 78名
P会員数 54名

地域学校協働活動

【国体体験】
学区内の公園で、練習・撮影活動を行った。

【ものづくり体験】と、一緒に
出陣アツアツくりに参加した。

【遊園地や公園】
地域の公園で、遊園地や公園を
楽しむ。



白石市立東中学校



令和6年度
東中学校テーマ
『勇往邁進』
～自己管理能力を高め、
自主性をもって学修進む姿勢
を育てる～



〒989-0213 白石市大瀬沢三次字龍野堂6番地3
TEL:0224-25-5575
FAX:0224-25-5623

生徒数 279名
P数 260名



海外中学校とのオンライン交流
海外の中学生と友達で交流し、互いの文化について理解を深めます。



立憲式
将来への自立を目指し、自己と向き合い、目標を持って努力する態度を育てます。



孫の手づくり
地域の方を招いて、孫の手作り方を教わり、伝統について学びます。



ゆかた着付け教室
ゆかたの着付けや所作を体験し、日本の伝統文化を学びます。

白石市立白石南小学校・白石南中学校 (白石きぼう学園)



〒989-0112
宮城県白石市越河平字平合 23-1
TEL 0224-28-2013
FAX 0224-28-2016
小学生 11名・中学生 16名

農業体験



今年度は近隣の方から畑を無償で借り、これまでより多くの野菜を育てます

地域を知る「ふれあい街歩き」



～シニアクラブの協賛～
白石市内の施設や名所を回り、地域の方々からご説明をいただきました

地立の特産 干し柿づくり体験



地域の方々に柿の皮むきから乾かすところまで丁寧にお手伝いいただきました



皆さんからの竹箒を使った柿もぎも体験させていただきました

角 田 市 の 地 域 学 校 協 働 活 動

1 今年度の事業への取組について

角田市の地域学校協働活動では、地域と学校が連携・協働して地域全体で子供たちの学びや成長を支えることを目的とし事業を展開している。令和6年度は昨年度に整備した学校支援ボランティア派遣の体制を改善・継続しながら、学校教育支援活動の充実を図ることに注力して事業を展開している。

2 地域学校協働本部について

令和5年7月に角田市地域学校協働本部を設置した。本部は以下の委員で組織している。

- ・小中学校長の代表 ・地域連携担当教職員（各学校1名） ・地域学校協働活動推進員
- ・地域の関係者（6名）

3 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
「ふあみふあみ」 （家庭教育支援事業）	活動を通して親子の愛着形成を促進するとともに子育てについて「気づき」を得られるような場を提供する。 ・カラーサンドアート	【対象】未就学児とその保護者 【会場】角田市市民センター
「子育て遊びのMARCHE」 （家庭教育支援事業）	親子の運動遊びについて学ぶ機会をつくることで、子供の体力向上や子育ての仲間作りを支援する。また、家庭教育支援チーム員と連携し、育児相談や子供の発達に応じた運動遊びのアドバイスを実施する。	【対象】0～2歳児とその保護者 【会場】角田市スポーツ交流館
家庭教育学級	市内保育施設で行われる、子供の基本的なしつけや親の役割等の学習に対し支援を行う。	【対象】未就学児とその保護者 【会場】市内保育施設等 （全10施設）



【 ふあみふあみ 】



【 子育て遊びの MARCHE 】



(2) 地域活動支援

事業名	内 容	備 考
ジュニア・リーダーの育成	子ども会活動に必要な技術・態度等について学習し、積極的に活動できるリーダーを育成する。 ①定例会（年10回） ②「宇宙っ子まつり」へ参加 ③ジュニア・リーダー自主研修会 ④パフとあそぼう会（12月） 小学生を対象に異年齢集団での遊びを教えている。 ⑤金津インリーダー研修会へ派遣 ⑥栗山町・角田市姉妹都市「子ども交歓の集い」へ派遣 ⑦角田児童センター夏祭りへ派遣 ⑧角田市子どもフェスティバルへ参加 ⑨角田駅前マルシェへ派遣 ⑩阿武隈リバーサイドマラソン大会へ派遣 ⑪ジュニア・リーダー初級研修会	①【会場】角田市市民センター ②【会場】台山公園 ③【会場】角田市市民センター ④【会場】かくだ田園ホール ⑤【会場】南蔵王野営場 ⑥【会場】北海道栗山町 ⑦【会場】角田児童センター ⑧【会場】かくだ田園ホール ⑨【会場】角田駅前広場 ⑩【会場】角田市中央公園 ⑪【会場】角田市スポーツ交流館 【対象】市内の小学6年生、中学生
角田市子どもフェスティバル	角田市子ども会育成会、角田市教育委員会の共催事業。地区子ども会等が設けた遊びのコーナーや各種体験コーナーをとおして、異年齢集団や異世代間、親子の交流の場を提供する。	【会場】かくだ田園ホール ・参加者 225名
角田祭ばやし講習会 練習会 披露	郷土芸能の伝承発展と子供の情操を養うために、角田自治センターと角田祭ばやし保存会が連携して実施している。今年度も8月の「かくだ牟宇姫夏まつり」で演奏を披露した。	【主催】角田自治センター 角田祭ばやし保存会 【会場】かくだ田園ホール 【対象】角田地区の児童生徒



【ジュニア・リーダーの派遣】



【角田市子どもフェスティバル】



【角田祭ばやし披露】

(3) 学校教育支援

事業名	内 容	備 考
学校支援ボランティアの派遣	学校の支援要請に応じて、学校支援ボランティアを派遣する。 この活動は、地域と学校が連携・協働して、幅広い地域住民の参画により、地域全体で子供たちの成長を支えけるとともに、地域の人と人とのつながりをつくることを目的としている。 ①読み聞かせ ②給食指導補助 ③ミシン学習補助 ④習字学習補助 ⑤戦争体験講話	・学校支援ボランティア登録者数 45名 ①金津小学校（年間） ②金津小学校、北郷小学校 ③角田小学校、金津小学校、北郷小学校、桜小学校 ④角田小学校、角田中学校 ⑤角田小学校、北郷小学校
キャリア教育の支援 職場体験学習 職業人講話	①中学校職場体験学習の実施にあたり、生涯学習課が窓口となり、市内の事業所等に職場体験学習の受入依頼をし、受入一覧を作成し学校に提供する。また、「マナー講座」の講師を紹介する。 ②職業人講話の実施にあたり、講師のリストを学校に提供する。	①北角田中学校2学年 角田中学校2学年 ②角田中学校2学年 北角田中学校1学年



【 読み聞かせ 】



【 給食指導補助 】



【 ミシン学習補助 】



【 習字学習補助 】



【 職場体験学習 】



【 職業人講話 】

(4) 放課後子ども教室

事業名	内 容	備 考
放課後子ども教室	地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強や文化活動による地域住民との交流を通じて地域の世代間交流及び地域活性化の一助とする。 ①学習サポート（毎月曜日） ②野菜づくり ③夏休み子どもイベント ④花植え	【主催】 ①～③：小田自治センター ④：小田地区振興協議会 【場所】小田自治センターほか 【対象】地区民全般



【 学習サポート 】



【 野菜づくり 】



【 夏休み子どもイベント 】

4 成果と課題

(1) 成果

①学校教育支援

- ・今年度も家庭教育支援事業「ふぁみふぁみ」や「子育て遊びのMARCHE」を開催して親同士が交流する場を設け、家庭教育支援チームや保健師、運動遊びの指導員と共に、育児相談や年齢に応じた運動遊びのアドバイスを通して子育ての不安や悩みを解消するなど、親の学びに繋げることができた。
- ・今年度は、ジュニア・リーダーの派遣依頼を多くいただき、その実践の場を通してジュニア・リーダーの資質向上を図ることができた。
- ・子ども会が減少傾向にある中であるが、今年度も角田市子どもフェスティバルを実施することができた。遊び場の出店を通して、子ども会や育成会の児童の活躍の場として充実したものとなった。

③学校教育支援

- ・学校から学校支援ボランティアの活用により充実した教育活動につながっているとの報告が増えた。
- ・地域学校協働活動ネットワーク会議を通して各学校の地域学校協働活動の実践状況を共有することで、横のつながりを図ることができた。
- ・職場体験学習や職業人講話の実施に当たり、受け入れ可能な事業所リスト及び講話の講師リストを学校に情報提供することができた。

(2) 課題

- ・学校支援ボランティア派遣やキャリア教育支援において、学校の要望に応えられる人材や受け入れ事業所が不足している。人材等の確保に努めていきたい。

角田市 角田市立桜小学校(総合的な学習の時間)「EM 発酵液づくり」

○市町名 角田市

○学校名 角田市立桜小学校

○期 日 令和6年10月9日(水)

○内 容

総合的な学習の時間(第4・5学年)

「EM発酵液づくり」

- ・身近な生活環境に目を向けさせ、自然環境を大切にする心を育てる。
- ・環境保全への意識を高め、地域のために自分ができることを考えさせる。

○講 師

桜地区振興協議会地域交流部会員

鎌田 三千子 氏

○指導補助

桜地区振興協議会地域交流部会員 6名

桜自治センター職員 中村 千香子 氏



○児童の声

- ・私は、4年生になって初めてEM発酵液作りを体験しました。米のとぎ汁と糖蜜とEM-1という液体を混ぜて作ることができました。うまく混ぜるのが大変でしたが、5年生の友達や地域の方にいていねいに教えていただいたので、楽しく作ることができました。これから、毎日空気をぬく作業を忘れずにしていきたいです。私が作ったEM発酵液をプールに入れる日が楽しみです。(4年 本田 みのりさん)

- ・ぼくは、川がきたなかったり、汚れていたりするのを見ると悲しい気持ちになります。だから、EM発酵液を作って、自然をきれいにできると

知ってうれしくなりました。今回ぼくが作ったEM発酵液で水が本当にきれいになるのか、観察したいと思います。EM発酵液の作り方をていねいに教えてくださったので、楽しみながら活動することができました。ありがとうございました。(4年 渋谷 幸永さん)



- ・私は、EM発酵液作りをして学んだことが2つあります。1つ目は、EM発酵液を流すとプールがきれいになり、来年のプール掃除がやりやすくなることが分かりました。2つ目は、4年生にやり方を教えることで、EM発酵液について知ってもらえるのいいと思います。ちゃんと発酵できるように、ふたを毎日開けるのを忘れないようにしていきます。

(5年 玉手 唯華さん)

- ・私がEM発酵液作りをして分かったことは、EM発酵液のおかげでプールの水がとてもきれいになったことと、このEM発酵液づくりを最初に始めたのが20年前だということです。EM発酵液のおかげでプールの底がすべらなくなったり、汚れが落ちやすくなったりすることが分かりました。この活動を最初に始めたのは、阿武隈川の浄化のためで、当時の校長先生と相談して始めたことを知ることができて良かったです。4年生にも教えられて良かったです。

(5年 小島 愛叶さん)

- ・私は、EM発酵液作りを終えて、分かったこととがんばったことがあります。分かったことは、

発酵液のおかげでプールを楽に掃除できていることが分かりました。がんばったことは、グループで仲良く教え合うことです。けんかをせずに楽しくできたので良かったです。EM 発酵液がプールに広がって掃除が楽になればいいと思います。 （5年 矢内 優希さん）



○講師から

角田市立桜小学校は、プール清掃で EM(有用微生物群)の効果を実感してから 20 年になります。当時の生活は豊かで快適でした。一方で海や川を汚す原因の 60%以上が生活排水。中でも米のとぎ汁は、栄養分が多いため大きな比率を占めているということを知り、大きな衝撃を受けました。「地域を汚すのも美しくするのも人間。汚してしまった部分を少しでもきれいにして、後世に残したい。」と思い『台所からきれいに』をモットーに水の浄化推進へと一歩を踏み出したのです。

平成 17 年に桜小学校へ出向き、「米のとぎ汁 EM 発酵液を使って、プールを清掃してみませんか。」とお誘いしました。すると校長先生と先生方は、これは子供たちの環境教育に役立つと早速取り入れてもらいました。初めての試みなので不安もおありだったかと思いました。しかし、前向きに考えていただき、その活動は現在までつながっています。

シーズン前のプールに EM 発酵液を 300L 入れ清掃日を待ちました。3 週間程度おいて 5・6 年生がブラシを手に清掃を始めると、EM が

驚くほど悪臭を抑制し、ヘドロやアオコ、落ち葉を分解していました。ブラシでこすってホースで簡単に洗い流すだけでピカピカ。EM を投入しておいたプールの水は、用排水路に流れてやがては海に達し、EM はその流れの中で増え続け、河川や海を浄化する力を発揮してくれるでしょう。

これまでの活動にとどまらず、環境問題に対する高い意識を持って地域、学校、行政と連携し継続した取組を行っていきたいです。

（鎌田 三千子 氏）

○教職員の声

「EMのおかげで、プールの水がきれい。」

「先生、用水路にでっかい鯉が泳いでいたよ。」

子供たちから、こんなうれしい声が度々聞こえるようになったのも、桜小学校では 20 年もの間継続して EM 活動を行ってきたからです。4・5・6 年生が、年に 2 回 EM 発酵液を作り、プールに投入してきました。また、EM 元気玉を作り、2 回に分けて用水路に投入してきました。これらの活動のすばらしい点は、子供たちが地域の大人の方々と一緒になり、地域の環境改善運動に取り組んでいる点です。小学生が、自分たちの住んでいる地域の自然環境を少しでも良くしていこうと、自らできる実践に進んで取り組んでいることに大きな意義があると感じています。

毎回、快く講師を引き受けていただいている鎌田三千子様を始め、桜自治センターの皆様、美土里ネット（角田土地改良区）の皆様、そして地域の皆様方の御協力のおかげで、この活動は継続できています。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

（教務主任 高橋 和宏 先生）

○教育事務所から

地域の方々と 20 年も継続されている活動。つながる・続けることのすばらしさを改めて学ばせていただきました。

角田市立角田小学校

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館 41 番地
Tel:0224 (63) 1144・1145 Fax:0224 (63) 0365
児童数：491名
P 会員数：378名

【教育目標】

夢と志を持ち、しなやかに
たくましく児童の育成

創立150周年記念事業

地域とつながる学習
角田市のキーワード「国」「地」「地」「地」「地」を総合的な学習の時間に取り上げ、地域理解を図っています。



地域の学習

地域の図書館や歴史資料館、クリーンセンター等、地域の文化や産業について体験を通して学びを深めています。

角田市立桜小学校

〒981-1522 角田市佐倉字小山78番地の1
TEL 0224-63-1150 FAX 0224-63-0346
児童数 152名

地域と連携した環境教育	
地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。	地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。
地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。	地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。
地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。	地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。
地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。	地域の自然観察を促して、田植え・稲刈りの体験学習を行っています。



角田市立北郷小学校

〒981-1524 角田市南字阿部陀入 11-2
TEL 0224-68-2345 FAX 0224-68-3548
児童数 138名 P 会員数 109名

主体的学びと学力向上(知)

夢・志の育成(志)



角田市立横倉小学校

〒981-1512 角田市横倉字横倉 116名
TEL 0224-63-1146 FAX 0224-63-0329
e-mail yokokura@kakudai.ac.jp

ふるさと角田学 ふるさと教育(協働教育)



角田市立金津小学校

未来を創り出そう 金津の郷で

〒981-1502 角田市尾山字草町125-1 TEL:0224-63-1143 FAX:0224-63-0341 児童数 101名

地域に根差す

地域の特色と伝統芸術

地域に交えられて

ボランティアの力

みそ作り

田植え踊り

お手玉遊び

角田市立北角田中学校

〒981-1521 角田市江尻字前原50 TEL:0224-68-2323 FAX:0224-68-3384 生徒数 179名

地域と連携した教育活動（地域学校協働活動）

第1学年 地域賞賛活動

第2学年 職場体験学習

第3学年 子育て体験学習

生徒会 あいさつ運動

角田市立角田中学校

〒981-1505 角田市角田字牛館1-2 TEL:0224-63-1141 FAX:0224-63-0354 生徒数 484名

学校教育目標

自ら学び、自他を尊重し、心身共にしなやかな 生徒の育成

～校訓～ 自学・協調・強靱

児童宣誓

志宣言

職場体験

体育実習

宇部教育講演会

角田市立北角田中学校

〒981-1521 角田市江尻字前原50 TEL:0224-68-2323 FAX:0224-68-3384 生徒数 179名

地域と連携した教育活動（地域学校協働活動）

第1学年 地域賞賛活動

第2学年 職場体験学習

第3学年 子育て体験学習

生徒会 あいさつ運動

蔵王町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取り組みについて

蔵王町の地域学校協働活動では、地域・家庭・学校が連携し地域全体で子供を育てることを目的とし事業を展開している。令和6年度は多種多様な技能を持ち合わせたボランティアで組織している「ざおう子供応援団」の体制を整えながら学校教育支援活動に力を入れ、事業を展開している。

2 地域学校協働本部について

現在、蔵王町には地域学校協働活動本部が設置されていないが、地域学校協働活動推進協議会を組織しており、本部としての機能を果たしている。地域コーディネーターについては2名を常勤で配置している。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
子育てサポーターチーム 「すまいるハート」の活動	今年度は講演会時や公民館講座における託児や昨年度に引き続き、子育てサポーターの活動周知のために手書きのメッセージカードを作成し、乳幼児健診の際に保護者に渡した。 また、会員の資質向上のために子育て支援施設への視察研修会も行った。 ほか、県主催事業への参加とチーム内での定例会（5回）を行った。	現在、17名の子育てサポーターが登録。
公民館講座 「リフレッシュ♪ママカフェ」	今年度のママカフェは4回開催予定。育児で毎日忙しい母親にリフレッシュしてもらおうと同時に学びの場を提供し、その間子育てサポーターは託児を行っている。	【開催】 8月、9月 【開催予定】 2月、3月



【子育てサポーターの活動】

(2) 地域活動支援

事業名	内 容	備 考
ジュニア・リーダー事業・研修会	地域子ども会活動の支援及び地域活動の活性化を目指し、中高校生を対象に研修会を実施し、次世代リーダーとしての知識や技術の習得を目指す。 イ) 初級研修会 【期日】6月29日(土)～30日(日) 【会場】松島自然の家 【参加】18名 ロ) 子ども会活動や地域活動の支援	町育成会との主催事業 イ) 子どもの理解、ジュニア・リーダーの役割について学び、必要な基礎知識や技術の習得をめざす。 ロ) 町内5つの支部が各地区児童館を拠点に児童厚生員の指導のもと地域活動に参画。
インリーダー研修会	小学4～6年生を対象に子ども会リーダーとしての知識や技術の習得を目指す。 【期日】7月27日(土)～28日(日) 【会場】松島自然の家 【内容】レクリエーション、海遊びほか 【参加】30名	町育成会との共催事業
世代間交流事業	各種団体等と共催し、広い世代の参加を呼びかけ、交流を深める取組を実施。 永野地区ふるさと伝承教室 【期日】11月10日(日) 【会場】蔵王町ふるさと文化会館 【参加】50名 ほか、宮地区モルック大会・円田地区凧作り教室・円田地区凧あげ大会など	地区公民館・育成会・母親クラブ・PTA等と共催
蔵王町子ども会大会	子ども会会員、ジュニア・リーダー、成人指導者が共通の体験活動を通して、交流と親睦を深める。 【期日】10月20日(日) 【会場】蔵王町ふるさと文化会館 【内容】トレッキング、クラフト 【参加】29名	町育成会との共催事業
ざおうっ子伝承芸能発表会	民俗芸能について理解を深めるとともに、会員相互の交流と親睦を深める。 【期日】11月3日(日) 【会場】蔵王町ふるさと文化会館 【参加】65名	蔵王町子ども伝承・創作芸能推進協議会との共催



【ジュニア・リーダー活動】



【永野地区ふるさと伝承教室】



【伝承芸能発表会】

(3) 学校教育支援

事業名	内 容	備 考
本の読み聞かせ	本好きな子供に育ってほしいという願いを込めて実施。読み聞かせをとおして、本との出会い、友達との共通体験を得ることが出来る。	町内全小学校で月 1 回～2 回程度、読み聞かせボランティアを中心に活動。 【実績】(12 月末現在) 支援件数：39 件 支援者数：延べ 156 名
登校指導・見守り	児童が安全に登校できるよう指導・見守りを行う。	町内 2 校（円田小学校、宮小学校）区で実施。 【実績】(12 月末現在) 支援件数：194 件 支援者数：延べ 195 名
学習支援活動	町内の小中学校における学習支援（指導・補助）を行う。 【国語】毛筆指導、蔵王町に伝わる昔話 【社会】蔵王町の歴史について、蔵王町の産業について、蔵王町の公共施設について 【理科】流れる水のはたらき、地層の学習 【総合的な学習ほか】 福祉体験、地域を知る学習、田植えの学習、稲刈り、防災教室、熊の学習、施設見学ほか	町内全小中学校にて実施。 【実績】(12 月末現在) 支援件数：58 件 支援者数：延べ 116 名
校外活動支援	町内の小中学校における校外学習の支援（指導・補助）を行う。 登山指導 ほか	町内全小中学校にて実施。 【実績】(12 月末現在) 支援件数：6 件 支援者数：延べ 9 名
キャリア教育	中学生が町内の事業所等において職場体験を実施するに際し、事前学習として「マナー講座」、「キャリアセミナー」を実施。社会人との関わりを持つことで、将来の自分を深く考えるきっかけを作る。	町内全中学校で実施。



【地層の学習】



【キャリアセミナー】



【福祉体験】

(4) 放課後子ども教室

事業名	内 容	備 考
放課後子ども教室	児童の安全安心な活動拠点（居場所）を設けると共に、地域ボランティアからの協力を得て体験活動や創作活動を提供している。 【期日】6月21日（金）ほか 【会場】小学校、公民館 【内容】割りばし鉄砲遊び、トリック工作 【参加】延べ113名	



4 成果と課題

(1) 成果

家庭教育支援活動では、子育てサポーターの活動周知のために引き続きメッセージカードを作成し、乳幼児健診の際に保護者に渡し、子育てサポーターという身近な存在が活動していることを知ってもらう良い機会となっている。地域活動支援では、行事をとおして世代間の交流を促すことができた。また、ジュニア・リーダー活動においては、体験活動や企画力を養うための活動を行った。意欲的に活動に取り組む姿が見られた。学校教育支援、放課後子供教室では、「ざおうっ子応援団」の登録者を数多く活用し、子供たちの「学ぶ意欲向上」と地域住民と子供が繋がる橋渡し役を担うことができた。活動に携わるボランティアの方々は、自分の知識などを活かし、子供たちや地域に必要とされること、感謝されることに大きな喜びと生きがいを感じている。

(2) 課題

家庭教育支援活動では、子育てサポーターが主体となる能動的な家庭教育支援を実践できるようサポートしていくことや子育てサポーターの活動意欲を維持するための取組も必要だと考える。また、家庭教育全般における情報の発信方法も今後の課題である。地域活動支援では、人材の育成と同時にその人材が活躍できる仕組み・枠組みの構築が必要であるとともに、必要課題だけでなく、欲求課題を満たすことが出来る活動を検討していく必要がある。学校教育支援では、現在依頼するボランティアに偏りがあるため、特定の人材だけができる活動ではなく、より幅広い人材が活躍できる活動を地域・家庭・学校の連携により考えていく必要がある。さらに、ざおうっ子応援団に登録しているボランティアの方々の活動における個人の資質向上のための研修会を行い、より質の高い支援活動を行っていききたい。放課後子ども教室は、年間に行っている回数の少なさとボランティアの組織化が課題と考える。放課後児童クラブや小学校と連携を取りながら今後の開催時期、内容、ボランティア組織化の土台作りを考えていきたい。

蔵王町 蔵王町立遠刈田小学校(理科・総合的な学習の時間)「流れる水のはたらき」

○市町名 蔵王町

○学校名 蔵王町立遠刈田小学校

○期 日 令和6年10月2日(水)

○内 容

理科・総合的な学習の時間(第5学年)
「流れる水のはたらき」

○講 師

環境政策課(ジオパーク推進室)
ジオパーク専門員 北川 桐香 氏



○児童の声

・僕は、川の学習で、川は下流に行けば行くほど、川の幅は広くなることと石の大きさが小さくなっていくことが分かりました。石もいろいろな種類があることが分かり、探すのが楽しかったです。



・私が川の学習で分かったことは2つあります。
1つ目は、川の石の大きさです。上流はごろごろした大きい石、中流は上流の石の4分の1くらいの大きさの石、下流は砂のような小さい石でした。2つ目は、川の流れの速さです。上流が一番速くて、中流はゆっくり、下流はとてもゆっくりとした速さでした。



・僕が川の学習で分かったことは、松川は白石川、阿武隈川、太平洋とずっと繋がっているということです。川の幅や石の大きさが変わって行って、おもしろいと思いました。



- ・私が川の学習で分かったことは、2つの小さい川が合流して、大きな川になるということです。松川は白石川と合流し、白石川は阿武隈川と合流し、阿武隈川が太平洋まで繋がっていることを知りました。阿武隈川がとても大きく、広くてびっくりしました。



- ・私は川の学習で、松川が白石川、阿武隈川、太平洋と繋がっていることが分かりました。このように名前が変わりつつも海までちゃんと繋がっていることがすごいと思いました。



○講師から

小5理科「流れる水のはたらき」の単位では、川の水の勢いや河原の観察を通して、流れる水のもつはたらきと土地の変化について学びます。学校を飛び出し、上流から下流へ、川をたどっていく校外学習が、流れる水のもつエネルギーや水の循環を学ぶ機会となるだけでなく、自らの暮らしと自然のかかわりについて考えるきっかけになれば嬉しいです。



○教職員の声

今年度、5学年では「蔵王をさぐろう」をテーマに地域学習を行いました。普段目にしている身近な地域の川でも、川の性質や川幅、石の様子など初めて知ることが多く、児童は目を輝かせて活動していました。

ジオパーク推進室の皆様には、お忙しい中たくさんご協力をいただき、ありがとうございました。



○教育事務所から

身近な松川がどのように流れ、太平洋へとつながっているか、水の流れや河原の石がどのように変化するのかということを、実際に五感を使って学ぶことができる貴重な体験でした。



蔵王町立円田小学校



〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字堀の内28
TEL 0224-33-2036 FAX 0224-33-2596
児童数 81名

地域と連携した教育活動（地域学校協働活動）

学習支援



地域の方がゲストティーチャーとなり、児童が意欲的に学習した。



総合的な学習の時間「国・民・愛」で、体験活動を通してふるさとへのよさを再発見した。



地域の方にご指導いただきながら、蔵王の自然に親しんだ。

校外活動支援



PTA、地域の方々が隊員となり、児童の安全を守った。

子ども安全見守り隊

蔵王町立平沢小学校



〒984-0331 宮城県刈田郡蔵王町大字平沢字台屋敷32
TEL 0224-33-2024 FAX 0224-33-2333
児童数 52名

学校林を活用した交流学習



（蔵田農林高校との異校種交流）

福祉体験活動



（白杖体験、車椅子体験、高齢者疑似体験、手型体験）

不審者対応防犯教室



（命の教育の推進）

蔵王町立永野小学校



〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字北浦16番地
TEL 0224-33-2014 FAX 0224-33-2593
児童数 96名

地域のボランティアの方々の協力をいただきながら様々な活動に取り組んでいます。

稲作体験・梨の栽培活動



米づくりの秋の収穫を通して、収穫までの大変さを知る。とくに稲刈りの気持が名づつことができました。



火山の活動が心配される中、梨の栽培活動を通じて、自然災害や環境について学ばせました。

蔵王の自然（ジオパーク）



大型遊具の撤去が心配により、町のくらしのつくりかたを学びました。

蔵王の歴史



大正時代の蔵王の歴史を学びました。

蔵王町立宮小学校



〒989-0701 宮城県刈田郡蔵王町大字井戸井38番地 児童数 104名
電話 0224-32-2004 FAX 0224-32-2008 児童数 115名

田植え体験



学校近くの田んぼをお借りして、5年生が田植え体験を行っています。

朝読書の読研開かせ



1、2年生に朝読書の時間に様々な本を紹介していただいています。

スキー教室



スキー教室はたくさんの方々の協力から支えられています。



蔵王町立遠刈田小学校

〒989-0916
宮城県刈田郡蔵王町立遠刈田温泉峠山25

Tel 0224-34-2104 Fax 0224-34-2163
児童数 70名



トランペット鼓笛隊

運動会や蔵王エコーライン開通式、大遊芸フェスティバル等で多くの伝統を披露します。



異校種間交流

中学校を見学することで互いに高め合い、一人一人が充実した中学校生活を目標します。



縦割活動

4月に縦割組合わせ会を行い、年間を通じて、縦割清掃や縦割遊びを行います。



蔵王町立門岡中学校

〒989-0831 刈田郡蔵王町大学平刈田学区下23
電話 0224-33-2028 FAX 0224-22-7016
生徒数 113名



自然環境・自然・歴史等について

地域の学び支援ボランティアの方々と連携し、地域の施設や蔵王の産業・自然・歴史等について訪問等をおしして学びます。



蔵王町教育委員会生涯学習課と各事業所等と連携し、セミナーや体験活動を取り入れたキャリア教育を推進しています。



町域林業光臨、地域事業所等と修学旅行先（令和6年度は東京砂辺）と連携し、蔵王町の観光資源や特産物等PRしています。



地域住民と防犯関係機関や小中高連携の防犯啓発活動を通して、社会の一員としてよりよく生きることの大切さを学びます。



蔵王町立宮中学校

〒989-0701 刈田郡蔵王町宮字馬岡16
電話:0224-32-2304 FAX 0224-22-8022
生徒数 94名



蔵王「PR活動」(3年)

町内林野指導 教育委員会、町内事業所と連携し、蔵王町の観光・歴史・文化・産業にや特産物を販売などPR活動を実施します。



キャリアセミナー(2年)

「地域の産業について学ぶ」をテーマに、蔵王の観光・歴史・文化・産業に関する事業所や企業、職人を学校へ招き、講話や実習を実施します。



蔵王を知る研修(1年)

教育委員会、町内事業所と連携し、蔵王町の観光・歴史・文化・産業について自らテーマを決めて学習します。



御氷めぐり(2年)

町内林野指導、教育委員会、町内事業所と連携し、蔵王町の観光・歴史・文化・産業について自らテーマを決めて学習します。



蔵王町立遠刈田中学校

〒989-0916 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉峠山16
TEL 0224-34-2203 FAX 0224-35-3139
生徒数 35名



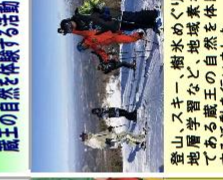
全校生徒による遠刈田太鼓

上級生から下級生に受け継がれる「遠刈田太鼓」の練習の成果を遠刈田太鼓の披露しました。



修学旅行「ふるさとPR活動」

地域の方々の協力をいただき、修学旅行先で遠刈田温泉の素晴らしい景色を伝える活動を行いました。



蔵王の自然を体験する活動

登山、スキー、樹氷めぐり、地層学習など、地域事業所と連携し、蔵王の自然を体験する活動を行いました。



地域人材による特別授業

地域の人材を活用して、琴・書写・人権・食育など、様々な分野の特別授業を実施しました。